

IV-13 徳島県における老人社会福祉施設の現状と今後の整備の方向性に関する研究

徳島大学大学院 学生員 ○小谷 麻由美 徳島大学大学院 正会員 近藤 光男
徳島大学工学部 正会員 廣瀬 義伸 徳島大学大学院 学生員 大谷 博

1. はじめに

我が国の65歳以上の高齢者の割合は、20年前には約8%であったが、現在は約16%、20年後には約25%に達すると予測されている。これは、国民の4人に1人は65歳以上という超高齢社会になるということである。高齢者が、安全にかつ快適に地域社会で自立して生活するためには、住宅、公共施設、交通施設などの社会基盤が、相互に連携した形で計画・整備されることが重要である。

本研究では、徳島県における高齢社会の進行の状況を明らかにするとともに、老人福祉施設の整備状況を調査・分析することにより、今後、望まれる高齢化社会に対応した社会福祉施設の整備・拡充の方向性を検討した結果について報告する。

2. 研究の意義

従来の研究では、高齢者に配慮した社会基盤整備については、交通施策が論点の中心であったが、本研究では、高齢者に配慮した社会基盤整備の検討として、中期あるいは長期的な目標年次を設定する社会福祉施設の配置を検討する。また、高齢者の活動の実態やニーズに基づいた検討を行う。

3. 徳島県における高齢化の現状

四国は、表-1をみると、高齢化率は全国平均より

りも高い。特に徳島県の高齢化の現状として、徳島県は、高知県に続き2番目に高齢化率が高いことがわかる。

また、図-1の徳島県における市町村別の高齢者人口と高齢化率をみると、高齢者数は、人口が最も多い徳島市が最大となっている。高齢化率では、藍住町で11.7%と最も低い値を示し、山間部の一宇村で42.8%という著しく高い値を示している。

表-1 四国の年齢3区分構成比(平成9年)

	総人口 千人	65歳以上 人口 千人	年齢3区分構成比		
			0~14歳 %	15~64歳 %	65歳以上 %
全国	126,486	20,508	15.1	68.7	16.2
徳島県	831	174	14.7	64.4	20.9
香川県	1,029	205	14.8	65.3	20.0
愛媛県	1,502	306	14.9	64.6	20.4
高知県	812	183	14.4	63.1	22.5

4. 老人社会福祉施設について

(1) 老人社会福祉施設の種類

社会福祉施設とは、高齢者、身体障害者、児童、精神障害者、生活困窮者等に対して、必要な生活救護、専門的な指導訓練等のサービスを提供する施設のことである。大別して、老人福祉施設、身体障害者厚生救護施設、保護施設、婦人保護、児童福祉施設、精神薄弱者救護施設などがある。

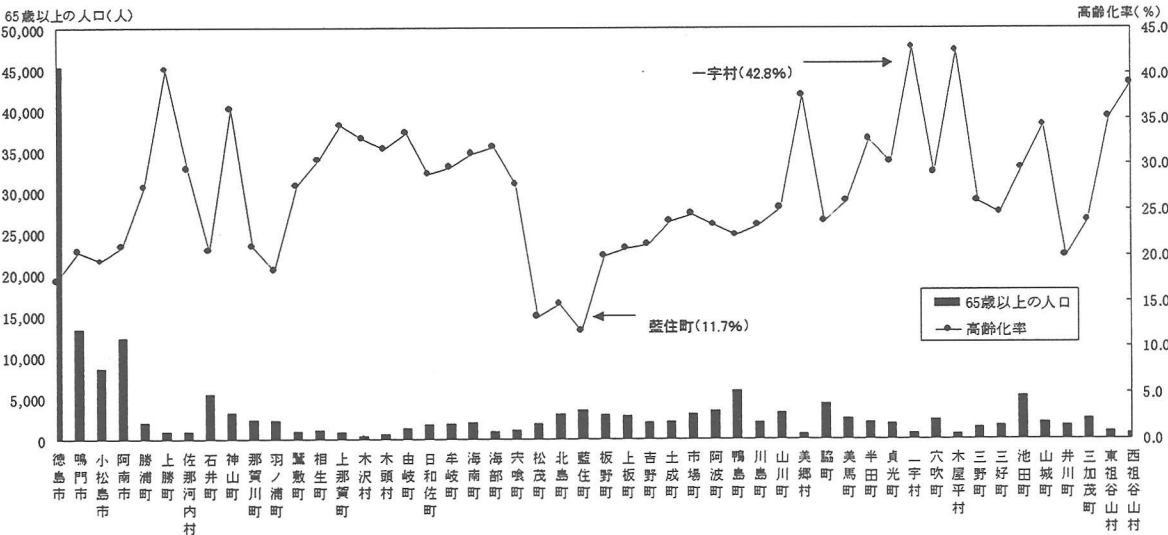
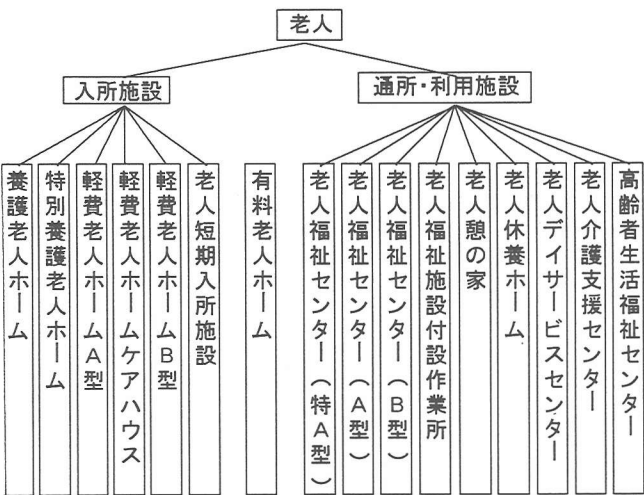


図-1 市町村別の高齢者人口と高齢化率

高齢者に対する社会福祉施設の種類としては、大別して入所施設と通所・利用施設にわけられる。図－２に高齢者に対する社会福祉施設の種類を簡潔にまとめる。



図－２ 高齢者に対する社会福祉施設の種類の分類図

(2) 老人福祉施設の現状

現在、徳島県人口の5人に1人が65歳以上の高齢者であるが、将来3人に1人が高齢者という時代が来るのはそう遠くない。そこで、徳島県内でも新時代に備え服し施設の整備が急ピッチで進んでいる。徳島県では、高齢者が、必要な保健、福祉等のサービスが利用できる体制の整備を目指した施策として、徳島県高齢者保健福祉計画（とくしま長寿プラン）を実施している。表－２は徳島県における老人福祉施設の整備状況を長寿プランの達成率と比較することにより示している。

徳島県の各市町村における老人福祉施設の施設数（平成11年7月現在）を図－３に示す。徳島市内

の老人福祉施設は、比較的整備が進んでいることがわかるが、高齢化率の高い山間部における老人福祉施設の施設数は少なく、種類も充実していない。このように、市町村によって整備状況に大きな差を生じていることがわかる。

表－２ 徳島県における老人福祉施設の整備状況

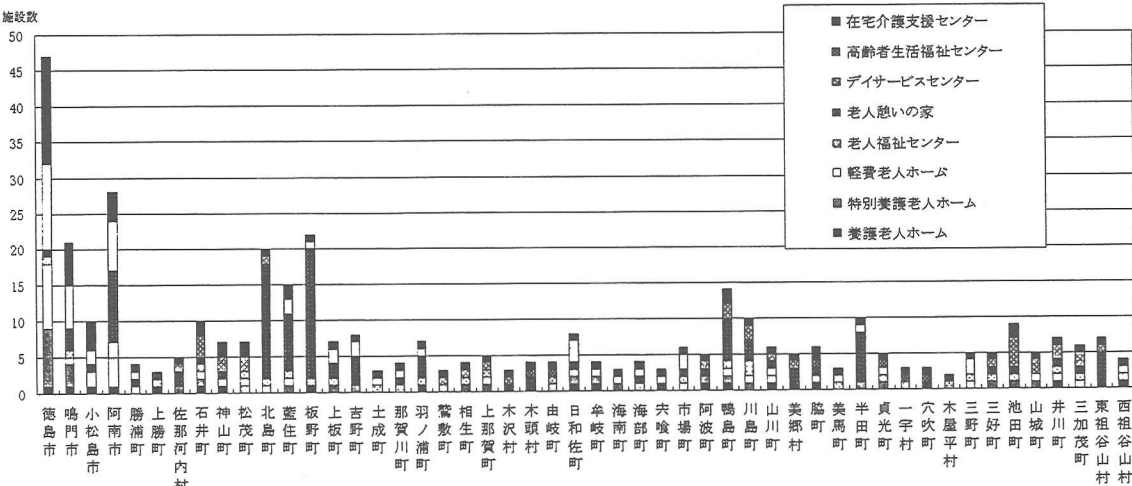
施設	93年度末	97年度末	99年11月	99年度末予定	徳島長寿プラン目標数
訪問看護ステーション （個所）	3 (6.0)	22 (44.0)	40 (80.0)	-	50
ホームヘルパー （人）	509 (34.2)	890 (59.8)	-	1079 (72.5)	1488
ショートステイ専用ベッド （床）	198 (44.0)	428 (95.1)	446 (99.1)	529 (117.6)	450
デイサービスセンター （個所）	49 (50.0)	86 (87.8)	92 (93.9)	98 (100.0)	98
在宅介護支援センター （個所）	25 (30.1)	69 (83.1)	84 (101.2)	87 (104.8)	83
高齢者生活福祉センター （個所）	4 (33.3)	6 (50.0)	6 (50.0)	6 (50.0)	12
特別養護老人ホーム （床）	2030 (78.1)	2625 (101.0)	2675 (102.9)	2735 (105.2)	2600
老人保健施設 （床）	2691 (70.8)	3721 (97.9)	3800 (100.0)	3800 (100.0)	3800
ケアハウス （床）	60 (10.0)	456 (76.0)	654 (109.0)	881 (146.8)	600

()内は長寿プランの達成率（％）

5. 考察

本研究は、徳島県内の老人社会福祉施設の現状分析として様々なデータを収集し、分析を行った。結果、徳島県を市町村別にみると山間部など著しく高齢化率の高い地域においてさらなる福祉施設の充実が望まれる。その場合、その地域の問題点や特性を理解し、地域社会、社会福祉施設、交通施設、住宅を相互に連携させた形で整備する必要があると考えられる。

今後は、徳島県の現状分析を市町村別に更に詳しく行い、老人社会福祉施設を対象にアンケート調査し、高齢者のアクセシビリティの実態やニーズに基づいた社会福祉施設の立地施策の提案を行い、シミュレーションによる施策の評価を行いたい。



図－３ 各市町村における老人社会福祉施設の施設数